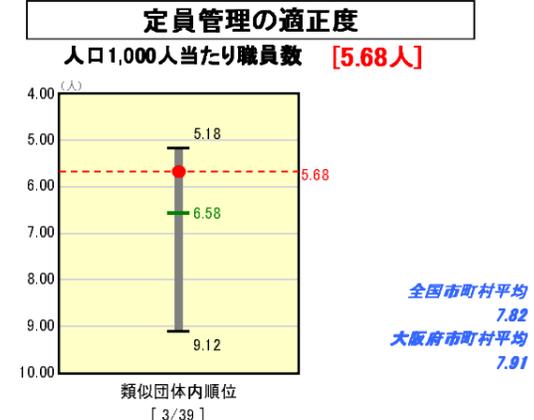
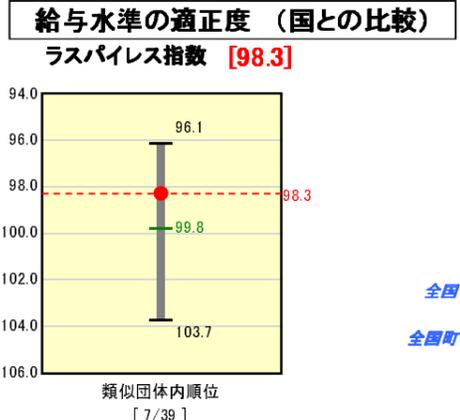
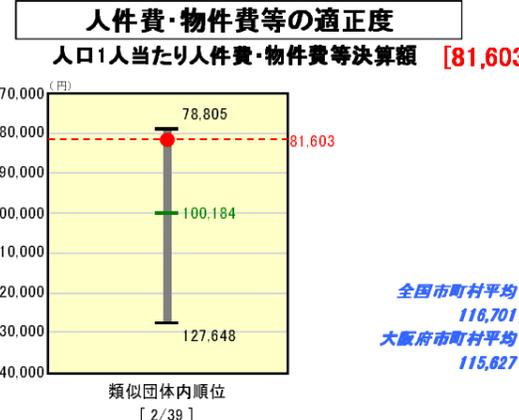
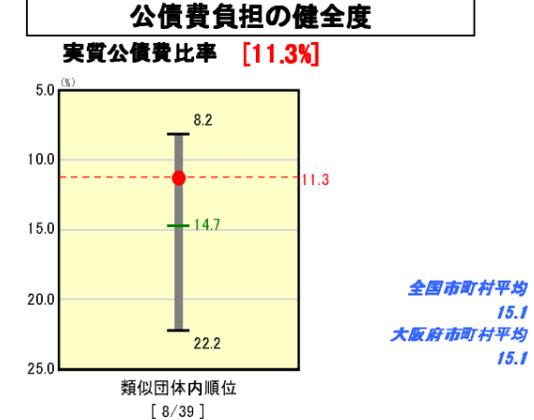
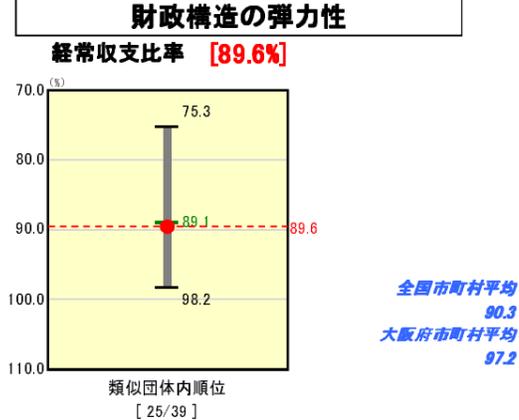
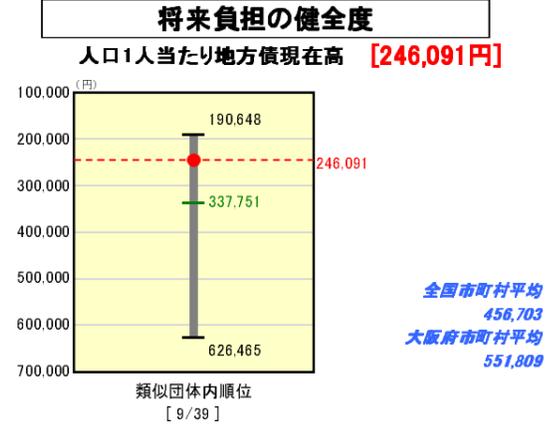
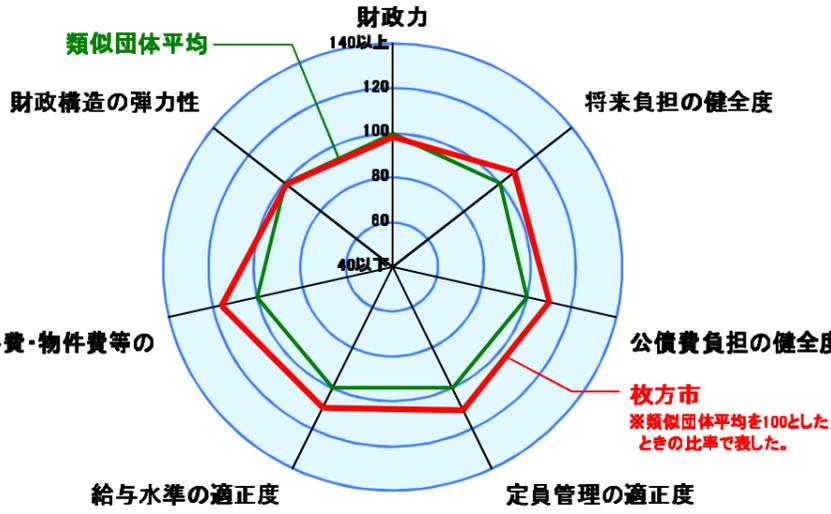
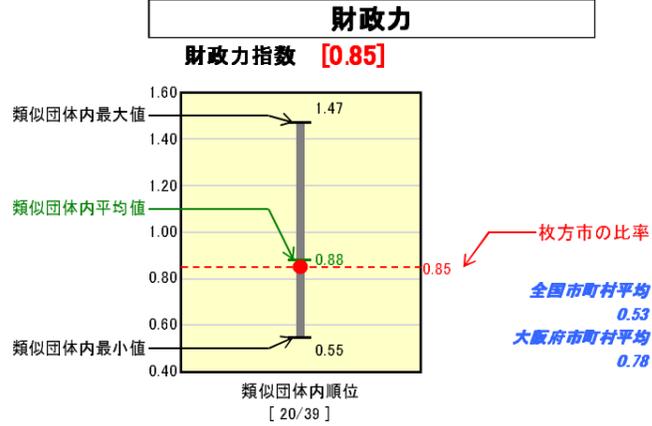


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 大阪府 枚方市

人口	404,944 人(H19.3.31現在)
面積	65.08 km <sup>2</sup>
歳入総額	113,028,654 千円
歳出総額	111,634,515 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

- 財政力指数**  
平成18年度決算では、前年度に引き続き類似団体平均を下回るようになったが、対前年度比では0.01ポイント改善した。これは、市民税が定率減税の縮減、企業業績の好調等により増額となったことが要因と考えられる。今後、人口の減少や少子高齢化の影響により、税財源環境は一層厳しさを増すことから、市政の構造改革をすすめ、財政基盤の安定化を図っていく。
- 経常収支比率**  
類似団体平均は上回っているが、対前年度比では1.6ポイント改善し、14年ぶりに80%台となった。これは、市民税や所得課税と税の増収により経常一般財源等が増額になったこと、さらに職員数の削減により人件費で1.6ポイント減、公債費でも、既発債の償還完了により0.9ポイント減となったためである。類似団体平均との差も、対前年比で1.7ポイント改善され0.5ポイント差となっている。今後は、市税の増収が見込めないこと、扶助費の伸びが継続する見込みであることなどから、経常収支比率の改善は非常に困難であるが、構造改革アクションプランに掲げられた目標の達成などを通じて、財政の健全化に努めていく。
- 人口1人当たり人件費・物件費等決算額**  
人口1人当たり決算額は、人件費の削減などにより対前年度比で約4,000円の減となっている。類似団体平均も下回っているが、これは消防業務を一部事務組合で行っているためである。
- ラスパイレズ指数**  
ラスパイレズ指数は年々減少傾向にあり、平成18年度においても、対前年度比で0.3ポイントの減となり、類似団体平均が0.3ポイント増となったため、前年度に続き類似団体平均を下回った。今後も引き続き給与の適正化に努めていく。
- 人口1人当たり地方債現在高**  
平成11年度以降、投資的経費を抑制したことや昭和50年代に発行した義務教育施設整備にかかる既発債の償還完了等により減少傾向が続いていたが、平成18年度は大規模プロジェクトである火葬場建設及び周辺整備事業・東部清掃工場(第2清掃工場)の整備による地方債の発行が増加したことなどにより地方債残高が増加した。今後は、PFI事業の実施などにより一時的に増加することが見込まれるが、投資的事業全体の適正化を図り、引き続き類似団体平均を上回ることを目指していく。
- 実質公債費比率**  
平成13年度をピークに公債費は減少しており、平成18年度においても、公債費充当一般財源や公営企業債の償還に充てたと認められる繰入金が増加している。このことにより、前年度に引き続き類似団体平均を下回っている。今後は、大規模事業の実施により、市債の発行が一時的に増加するが、現状より悪化させないように努めていく。
- 人口1,000人当たり職員数**  
平成18年度においては、前年度より62人の人員削減を行った。今後も構造改革アクションプランに掲げる目標である、平成25年4月1日まで700人の削減を達成するために適正な定員管理に努めていく。